

複数プローブ搭載品が手頃な標準モデルで登場。同時スキャンでスループットを飛躍的に向上

KSI 社製 超音波顕微鏡 V シリーズにマルチプローブ搭載モデル登場

独国 KSI 社 (<https://www.ksisam.com/>) の超音波顕微鏡 (超音波映像装置) V シリーズに、新たに2つの新モデル「V8-DUO」及び「V8-Multihead」が加わった。

これらは、複数の超音波プローブを搭載し、同時にスキャンすることでスループットを飛躍的に高めたモデルである。これまで複数プローブ搭載製品はカスタムモデルとして対応してきたが、カスタム品のため高額になるのがネックであった。そこで、KSI 社では部品や制御システムを共通化。スタンダードモデルとして、これまでより割安な価格にて販売を開始した。



V8-DUO



V8-Multihead

2本プローブ搭載モデル「V8-DUO」、および最大16本搭載の「V8-Multihead」の2モデルで展開。通常は1つのプローブをスキャンするため、大きい面積をスキャンする場合には長時間を要したが、複数のプローブを同時にスキャンすることで、検査速度を倍以上に短縮することに成功した。トレイに並べた多数のワークだけでなく、ウェハなど一枚もののワークについても、画像マージにより同じようにスキャン時間を短縮することができる。その他の使用方法として、違う周波数／焦点距離のプローブを同じ箇所でもスキャンし、厚みのあるワークについて一気に検査を行うこともできる。

KSI 社について

独国 Herborn に本社をおく KSI 社は、世界初の GHz 帯域超音波顕微鏡の開発を先駆けて成功させるなど、超音波による非破壊検査技術の先端を走るメーカーである。その歴史は Leica の流れを組み、30年以上の実績を誇る。

2000年に産業用途の超音波顕微鏡を市場に投入以降、本製品は品質保証、非破壊検査、プロセス管理などの幅広い分野で使われており、その製品品質・能力に高い評価を得ている。また、インゴットの丸ごと検査装置に代表されるよう、顧客やマーケットに応じた製品開発を行う柔軟性を兼ね備えている。

以上

株式会社 日本レーザー

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-14-1

URL <http://www.japanlaser.co.jp/>

本リリース製品の営業担当者 システム機器部 鎌田 洋平

電話 03-5285-0862

FAX 03-5285-0860

E-Mail : meas@japanlaser.jp

本リリースについてのお問合せ 販促業務部 橋本 和世

電話 03-5285-0861

FAX 03-5285-0860

E-Mail : hashimoto@japanlaser.jp